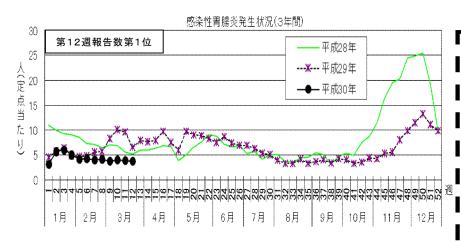
今、何の病気が流行しているか!

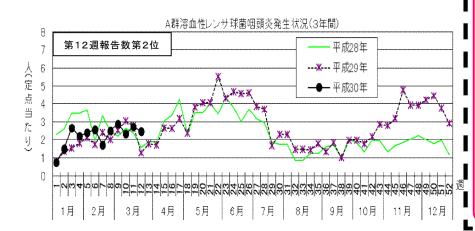
【感染症発生動向調査事業から】

平成30年3月19日(月)~平成30年3月25日(日)〔平成30年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.86人と前週(4.00人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.46人と前週(2.70人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。 インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.18人と前週(5.11人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。







知っていますか?~感染症の感染経路~

■ 感染症の原因となるウイルスや細菌は、飛沫感染や接触感染など、様々な感染経路 で体内に入ります。例えば、接触感染を主とする咽頭結膜熱やA群溶血性レンサ球菌 咽頭炎は、例年、春から初夏にかけて報告数が増加しますが、接触の機会が多い学校 や保育園などでは集団感染事例が発生することもあります。感染を予防するためには、 ■手洗いなどの対策を徹底し、感染経路を断つことが重要です。

主な感染経路

1 飛沫感染

口から飛ぶ病原体が含まれた小さな水滴を近く にいる人が浴びて吸い込むことで感染 主な感染症:インフルエンザなど

2 空気感染(飛沫核感染)

口から飛び出した小さな飛沫が乾燥し、その芯となっている病原体が感染性を保ったまま 空気の流れによって拡散し感染

主な感染症:麻しん、結核、水痘など

3 接触感染

感染源である人に触れる又は汚染された物を介 して感染

主な感染症:咽頭結膜熱、手足口病、

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎など

4 経口感染(糞口感染)

汚染された食物や手を介して口に入った物など から感染

主な感染症:感染性胃腸炎など

春~初夏に流行する主な感染症の発生状況

川崎市における咽頭結膜熱発生状況





